

# 2017年度 第2回 理事会議事録

日 時:2017年10月18日(水)10:30~17:00

場 所:東京都千代田区内神田 3-24-5  
エッサム神田 2号館 401

- I. 開会 司会進行:大代専務
- II. 会長挨拶:先日、福島へ行ってきました。震災から6年経過したが、日々忘れかけていると思う。各地で様々な災害がおこっている。万が一災害の起きてしまった際には会員の安否確認をお願いしたい。第2回理事会宜しくをお願いします。
- III. 議事
- 議長選出:白木副会長 議事録作成人:事務局 中村早苗
  - 定足数の確認:理事出席 60名(79名中) 委任状69名 監事出席2名(3名中) 顧問0名 オブザーバー4名 事務局3名 合計:69名
  - 議事録署名人の指名:正副会長より長江氏及び監事より望月氏を指名
  - 資料及び議題の確認・新議題の採択 なし。  
前回議事録の確認(メール配信済み) 2017年度第1回理事会 第1回常任理事会 第4回正副会長会議
  - <会議の進め方:竹ノ内関連部会長より>

## 【審議事項】

(1) 入退会について 入会4社 退会2社 大代 資料P1

大代:資料では問題ないと思う。

**入会 全会一致にて承認 退会 自動承認**

(2) 【関連部会】ストーンアシスト 2017 事業・決算報告 竹ノ内 資料P6

竹ノ内:総会の翌日に開催。167名参加し、セミナーは早いうちから席が埋まっていた。関連部会女子企画は好評であった。決算金額の残金2,262円を次年度積立とする。

**全会一致にて承認**

(3) 【広報委員会】2018年度お墓参りの日について 上野 資料P8

上野:2018年度の『母の日参り』のポスターを『秋分の日』のポスターと一緒に同送したいと思う。予算審議をお願いしたい。

**全会一致にて承認**

(4) 【役員候補者管理】次期会長立候補者について 藤原 資料P11

藤原:会長立候補者は現会長の射場氏だけであった。

射場:他にもっとふさわしい人がいるのではないのかという迷いはあります。しかし私に恐れはありません。自分らしさを大切にしながらも、自分の主観を押し通すわけではなく、一つの判断に固執することなく、自分の考えを無理やり押し通そうとすることなく、会務にあたっていきたいと思えます。次の世代に向け、さまざまに見直すべき点がある。

次期は次の世代に向けての準備の年でもあり、私自身の総仕上げの年でもあります。精一杯会務に臨みたいと思えます。森田:推薦理由としてリーダーシップ、真摯さ、そして先見性。改革しにくい中、射場会長は常に改革を行った。最後の2年間その総仕上げを行ってほしいと思えます。どうぞ宜しくお願いします。

白木:この理事会を経て、総会に諮る。

**全会一致にて承認**

(5) 【役員候補者管理】役員候補者管理委員会の方針 藤原 資料P13

藤原:委員会方針を決定した。理事の推薦についてのガイドラインとして、1会議に70%の出席を求めたい。理事就任承諾書についてだが、前回承諾書を否定された方が何人かいたが、理事会で決まったことを否定する方が理事になるのを私は如何なものかと思う。推薦から外したいと思う。

谷合:理事の責務2番3番4番 だが、地区長、部会長、委員長の事を申し立てているのだが、代理人についてなのだが、理事であれば常任理事の代わりができるのか?

射場:常任理事は組織運営上の役職である。法律上の責務は全員同じ《理事》である。

寺尾:代理を立てた場合、代理出席は《出席》とみなすのか?

## 2017年度 第2回 理事会議事録

藤原：前回正副では代理出席は出席とみなすこととなった。

柴田：これに対する罰則に対する規定は？罰則は委員会の中で決めるのか？この権限は理事会に帰属するのかそれとも役員候補者委員会なのか？会には監事がいるが、監事を含めて行うのか？運用方法の基準は考えているのか？

藤原：委員会が推薦しないからと言って理事になれないわけではない。委員会としては推薦しない。

長江：代理の件だが、地区担当副会長が正副会長会議に欠席の場合、代理が効くのか？代理出席は出席とみなされるのか？

射場：まだ議論が煮詰まっていない状況であるが、副会長は個人に帰属する部分であるので現状難しいと思う。

藤原：我々の仕事は次年度の役員を推薦することであって、この内容について議論するのは正副、理事会でしていただければと思う。民主主義の観点から、反対意見でも従わなくてはならないことがある。民主主義を否定するのは会議を否定しているのではないかと思う。

田尻：地方は急に欠席となった場合、明日会議に出席といわれても交通手配等があり、代理を立てるのは無理である。

地方のことをもう少し考えてほしい。代理の交通費負担はどうするのか？

藤原：組織の運営をするためにやむ負えないこともあるが、出席が必要であると思う。

射場：就任承諾書だが、前回 (1)・(2)・(3) の心がけの部分削除して提出された理事がいた。この3つの心がけ内容についてもテーブルディスカッションしていただきたいと思う。

長江：前回、理事就任承諾書を修正して提出した方も理事として受理している。

白木：承諾書を訂正した方は推薦委員会としては推薦しない。但し理事会にて承認されれば理事となるというのが、推薦委員会の意見である。

### ～各テーブルにて協議～

⑤瀬川：そもそもデジタル化するのはどうか？システムとして推薦委員会が推薦する、しないということに戸惑いがある。実際縛りが出てくると、各支部温度差もあり、次期の理事のなり手がいるのかという不安がある。石産協の魅力づくりにもっと力を入れた方がよい。

⑥柴田：代理出席と委任状の件だが、次の後継者を見つける一つ的手段として代理出席を活用してはどうか。ルールは必要だが、寛容な精神をもってその辺はあたるべきではないか。柔軟な運用を考えていただければと思う。

②前迫：なぜこのような事項ができたのか？出席率は関係ないのではないのか？就任承諾書については1～3必要ないのでは？そもそも責務については強制するものではない。排除の論理は引っかかる場所である。理事を引き受けてもらう人を探すのが大変である。経済的な問題もある。やっとならなくて来た人を排除するのは謁見行為ではないか？理事会にお金をかけて東京へくる必要があるのか？もっと他の方法があるのではないか？

藤原：当たり前のことを理解されていない方がいるので、ガイドラインを作ることになった。支部長に関しては考慮する部分はあるかとは思いますが、これにてお願いしたい。

柴田：組織図をみると役員候補者推薦委員会は理事会に属する機関。理事会を構成する理事の中での話ということなので、運営、出席等に関しては監事の仕事である。監事の意見が全く反映されていない。組織論的にも理事が理事会の中を構成する理事同士でお互いを罰する、選別するというのはおかしいことではないか？

白木：今回は罰するという事はない。推薦委員会からこのような形でお願いしたいということである。

望月監事：強制するわけではない。良心的に判断し、良い方向へ進行すればよいと思う。

斉藤監事：常識で判断すべきであると思う。

長江：理事就任承諾書に訂正した人を次回推薦しないというのは謁見だと思ふ。行き過ぎであると思ふ。

藤原：総会で理事が反対意見を述べるのは会議への冒涇であると思ふ。会議に出席というのは責任であると思ふ。

たとえ自分の意見が通らなくとも、議決されたことは守るべきであると思ふ。議決されたことを否定するのは、如何なことかと思ふ。

前迫：このような内容は理事会審議にそぐわないと思ふ。

白木：審議の内容は、推薦のガイドライン、推薦書、就任承諾書

**反対1名 白票18名 賛成40名 賛成多数により可決**

大代：次年度理事選出スケジュールを確認してほしい。支部長は支部より選出となり、1月10日までに提出をお願いしたい。事務局より理事候補者推薦書をメールにて送付します。

### 【協議事項】

## 2017年度 第2回 理事会議事録

### (1) 組織図について

会長

資料 P21

射場：支部長、地区長には様々な負担をかけていることは認識している。理事は登記をすることから、理事には義務も発生している。支部長の負担を減らすために、例えば理事は地区長以上を理事として、支部長を理事からはずす。支部長は連絡会議を年何回か開催。又は地区長を外す。こんな方法があるということの討議をお願いしたい。そして理事会の構成について討議をお願いしたい。支部長の役割を無くすわけではなく、理事の義務から解放するという意味である。

### ～各テーブルにて協議～

⑩大川：支部長を理事からはずすのは危険だと思う。地区長を無くして、地区担当副会長を増やす。委員会、部会で事業が重複しているので、一部統合してはどうか。会員に支部長から伝えるシステムを確立していれば、支部長無しでもよいのではないか。

②長江：例えば支部長会議が意見を吸い上げることであるが、それでは理事議決権はいつ発揮できるのか？支部メンバーの意見を透明化して伝え、議決権を行使する場が理事会だと思う。ますます退会者が増えると思う。

⑪寺田：支部長が理事会に参加することで相互理解が生まれる。仕組みを変えてでも続けた方がよい。同じ空間を共有する方がよい。支部長なしという取組みをしてみてもよいという両方の意見があった。

⑨望月秀：地区長の役割が増える。部会、委員会でも情報の共有ができない。支部単位、部会単位にて合同でコミュニケーションを取れる機会があったらよいと思う。

①堤：大分支部は2年ごとに支部長交替する仕組みをとっている。理事会に出席しないとわからないことがあると思う。会議に出席することが必要であると思う。

⑤上野：広報として消費者との接点を持っているのだが、この会は何をめざしているのか？もっと会員を増やさなければならない。後ろ向きな意見であると思う。消費者を浮かべながら議論するべき。もし会員が3000社あったら支部長は必要である。

④井口：理事会に出席することは苦ではないという意見だった。次期の支部長も理事会に参加してほしい。副地区長を作ってはどうか？

②福川：賛成である。地区会議をしっかり行うことが前提。総会の折には全国支部長会議を行い、それに分厚く費用をかける。地区長をはずすという意見もあった。補佐的な理事も必要ではないか？また副会長を減らす。委員会を減らすという意見もあった。

会長：支部長が会議に参加する意義を見出してくださることを嬉しく思う。意見を踏まえながら、次年度の組織作りを進めていきたいと思う。委員会に関しては会長の選任事項であるので考えたいと思う。部会は定款により変更できない。

大代：次年度理事選出スケジュールに則り、支部長を1/10までに推薦書等を提出。

### 【報告・周知・依頼事項】

(1) 【中四国地区】地区全体会議@鳥取 (2017. 11. 22-23 開催) について 姫田 別添

姫田：11月中四国大会 今月末まで申込みを延長。ホテルは上田支部長が何室か部屋を押さえている。

寺尾：是非参加をお願いしたい。

(2) 【九州地区】地区全体会議@大分 (2017. 11. 28-29 開催) について 玉田 資料 P23

玉田：九州大会は文化財の補修についての講和がある。時間があれば出席をお願いしたい。

(3) 【佐賀県・長崎県】合同支部研修会について(10月23・24日) 玉田 資料 P25

金子：やっと実現することができた。佐賀にて開催。

(4) 【予算編成委員会】支部補助費支給について 大代/望月 資料 P26

大代：皆様の努力により、全支部提出 済となった。

(5) 【墓石部会】第2回部会会議事業・決算報告 (2017. 7. 20 開催) 佐野 資料 P27

佐野：7/20 寺院永代供養の講演会を行った。活気ある講演会であった。参加者から参考になったとの意見があった。

(6) 【墓石部会】イベントリスト公開・活用について 佐野 資料 P30

佐野：石産協ホームページの会員専用ページを活用していただきたい。

(7) 【輸入卸商部会】日中墓石交流会 (11/12 中国恵安開催について) 望月 資料なし

## 2017年度 第2回 理事会議事録

望月秀：関西のエンディング産業展と時期が重なるが、中国恵安で石の彫刻の展示会のイベントがあり、中国より展示会の見学要請があった。中国国内では平面研磨をする工具が激減することが予想されている。自動研磨機の開発を急ぎたいとのことだが、今中国国内では開発が難しいことから日本側に協力要請があった。斉藤監事に日中会議に参加して頂き、指導をお願いした。

(8) 【関連部会】シナリオ・プランニング（動画の公開報告と今後の活用について） 竹ノ内 資料なし

竹ノ内：HPの関連部会ページに4つのシナリオ動画を掲載。不確定だが重要な要素を選びまとめてある。10年後ピンチとチャンスを生かす。ワークシートを活用していただきたい。

(9) 【関連部会】Web会議システムZoomの活用（オンラインデモ） 竹ノ内 資料なし

竹ノ内：Skypeより安定し、経費削減、移動時間の削減、参加者を増やす、WEBセミナー等に活用でき、スマートフォンも使える。

(10) 【広報委員会】お墓参りの似合う芸能人アンケート結果について 上野 資料 P33

上野：1位2位 会員、一般の方が同位だった。

(11) 【広報委員会】夕刊フジへの広告出稿について 上野 資料 P35

上野：秋分の日はお墓参りの日をアピール。広告料はソナエに広告掲載をしている関係で無料。

(12) 【公正競争規約委員会】委員会より経過報告 白木 資料 P38

白木：墓石販売というキーワードで小売店の件数を調査した。墓石流通経路を作成して消費者庁へ提出した。今後は準備委員会を開き、発起人を他団体をお願いしに行く。

(13) 【お墓ディレクター】駿台トラベル&ホテルズ専門学校講師派遣について 湯浅 資料 P39

湯浅：駿台トラベル&ホテルズ専門学校へ講師を派遣。講義は14回に渡り行う。

射場：第1回目を担当した。生徒の反応は大変良かったと思う。今後も続けていく事業だと思う。

(14) 【お墓ディレクター】第14回検定試験について（2018.1.25） 湯浅 受検要項

湯浅：10/25～12/7が受付期間。例年より受検受付期間が少し短くなっている。

(15) 【次世代委員会岡崎SF青年部交流会後援について（2017.10.14開催） 山口 資料 P40

山口：青年交流会にて石産協のPR。井口直前に会員拡大のPRをしていただき、会員1名が入会することとなった。

直前：1名入会があった。

(16) 【CS委員会】セミナーキット発売開始 能島 資料 P43

能島：石材店が消費者に正しい情報を伝え、集客につなげる。初回プレスは100枚程度とし、売れ残りのないように調整する。是非申込み頂きたい。価格は年会費の設定基準に合わせた。11月の石産協通信にて販売案内をする。先行予約された方にはセミナー開催マニュアルを特典として付ける。

川上：選考予約の申込書を11月の石産協通信に同送する。キットの概要として、資料を確認してほしい。地域の消費者に3つのコンテンツに分けてあるキットを活用してほしい。購入者特典としてセミナーを行い、テクニックを教える。

石川：キットを購入した場合、集客目的でHP等にセミナーキット内容を掲載してよいのか？

川上：石産協に著作権があるので、今すぐ判断できないが個人としてはそのような使い方は良いと思う。

(17) 【CS委員会】石産協オリジナル年賀状2019チラシについて 能島 別添

能島：去年に引き続き、オリジナル年賀状を作成。利用していただければと思う。データのみの提供もOK。

(18) 【ジャパンストーンショー運営委員会】JSS各セミナー開催報告 井口 資料 P46

～墓石部会・CS委員会・次世代共育委員会・加工部会・関連部会 運営委員会担当者からブース及びセミナー報告  
ジャパンストーンショー2018について

井口：3日間で25,867名の入場者があり、セミナーは大変盛況だった。次年度は上野委員長が実行委員長となる。

佐野：セミナーを行った。定員よりも多くの方に聴いていただくことができた。

能島：CS委員会では、当日半数が欠席だったが、当日参加が多数あり、定員を超える聴講であった。

川上：ランチェスター戦略について話をした。お呼びいただけたら、支部会でもお話をしたいと思う。

寺田：翌年引継ぎ事項として、配布資料等の余裕が必要。

大川：電動工具による加工講習会。粉塵対策には大変気を使った。来年度もし行うのであれば、今回を踏まえ、より良いものとしたい。

竹ノ内：前向きな意見が出てよかった。会場のレイアウトをもう少し考えていただければと思う。

## 2017年度 第2回 理事会議事録

上野：お墓物語も朗読～参加者は少なかったが、参加者全員涙していた。

上野：震災から学ぶ補強施工の基礎知識のセミナー。次回も行いたい。被災地の写真を展示したが、くまモンと物産展に食われてしまった。

白木：採石地の産地動画を流した。著作権の問題をクリアしたら皆様に実費でお分けしたいと思う。

直前：伝統工芸士加工実演は石材業界の基本なのでT S Oの反対はあったが実現した。良いブースであった。

上野：2018年度J S Sを広報で担当する。来年度は冊子を作りたいと思う。全国から会員に参加してもらいたい。

(19) いばらきストーンフェスティバル2017後援について (2017.11.3～5) 大代・堀 資料 P59

大代：真壁石材協同組合連合会より後援依頼があった。

堀：チラシを資料に配布。是非参加していただきたいと思う。

(20) 全日本仏教会「九州北部豪雨」義援金協力について 大代 資料 P60

大代：1万円拠出

(21) チャイルドライン協賛について 川本 資料 P62

川本：自殺者10歳から34歳の死因の1位は自殺。チャイルドラインは命の電話団体。今後の日本を支える若者たちを自殺に追い込まない、一つの電話で救える事業を支えることを石産協は続けていくべきだと思う。

(22) 新入会員・(有)矢田石材店について 会長 資料 P65

会長：2014年フライデー掲載記事について

矢田：自らの軽率な言動により皆様にご迷惑おかけしましたこととお詫びしたい。

(23) 年会費未納者一覧 大代 資料 P67

大代：9番・25番 は納入済となったので削除

三上：北海道支部：10/23 幸フクロウの設置を施設で行う。

西山：長野県支部：年3、4回集まり、理事会等の報告をおこなっている。

宗像：福島県支部：メンテナンス講習会を行う予定。メンバー集めに苦戦している。

前迫：鹿児島県支部：先ほどの来年度J S S、是非参加したいと思う。協力したいと思う。

濱田：徳島県支部：J S Sは今回支部として参加した。

天野：千葉県支部：会議回数を増やした。次期支部長、地区長を選ばなければならない。

米田：岡山県支部：相談会をおこなった。

吉田：愛知県支部：岡崎S F 多くのご来場いただきました。ありがとうございました

田尻：熊本県支部：熊本地震の墓石の倒壊修繕はまだ終わっていない。頑張っていきたい。

藤井：広島県支部：広島では来期地区長の予定。宜しくお願いします。

米本：山形県支部：10/28相談室を行う。曹洞宗のセミナー講演。会員拡大として11/18に石材店向けイベントを行う。

平山：兵庫県支部：セミナーキットを購入し、相談室行いたいと思う。

戸高：埼玉県支部：相談室を所沢にて行う。

斉藤：新潟県支部：一度も顔を見たことのない会員さんがいるので、訪問した。10/20に支部にて勉強会を開催。

小松：高知県支部：来年の高知での総会準備 是非来ていただきたい。

芳村：京都府支部：9月に終活フェアを行い、20数件の相談者があった。相談内容は8割位が墓じまいであった。

岡谷：香川県支部：毎月定例会を行っている。

寺田：福岡県支部：会員拡大を行いたい。会員の希望で東京の方で墓事情が変わってきていることから、詳しい方を招いて来年4月に勉強会を行う。

堀：茨城県支部：会員向け会報誌を作った。相談室を行う。研修会も行う予定。

金山：島根県支部：丁場研修を行う。(天山石材)お寺の方来ていただき座談会を行う予定。

村上：大阪府支部：会員が参加できる企画を考えたいと思う。

藤田：富山県支部：特に活動をしていない。改めて活動がなかったと思う。

大石：奈良県支部：石川県支部と協力して、奈良燈花会 石あかりの小道をおこなった。9/5初めて相談室を行った。

瀬川：岩手県支部：人口減少県として、価格競争がある。墓じまいに関しても価格競争となっている。10/24 東北支部長連絡会議を行う。ガイドラインに従い、来年度の支部長を選任したいと思う。

## 2017年度 第2回 理事会議事録

---

堤 : 大分県支部 : 来月の九州会議。大分への参加お願いいたします。

チェックアウト (グループ内にて感想発表)

### 監事講評

齋藤 : 理事交通費の再検討をお願いしたいと思う。

望月 : 理事会出席に旅費等負担がかかる。旅費について全体的にもう少し考えたい。地区、支部によって違うので各支部の旅費規定について調査したと思う。平等にしたいと思う。

閉会

2017年10月18日

議事録署名人 : 長江 曜子 ⑩

議事録署名人 : 望月 威男 ⑩

議 長 : 白木 秀典

議事録作成人 : 事務局 中村 早苗